

問1 . (1) a-1 b-3 c-2 d-1 e-4  
(2) a b c e

問2 . Among ((b)early civilizations, (d)the Greek and Roman cities (a)featured leisure (f)in (e)something (g)like (c)the modern sense), though only for a privileged elite.

Politics, debate, philosophy, art, ritual, ((d)and athletic contests (f)were activities (e)worthy of (a)a free man (g)because they expressed (c)the moral core of (b) a style of ) life.

(b)Nothing (g)illustrates better (c)the difference between Greek values (e)and those of modern industrial society than (d)their (f)word for (a)the work of a gentleman.

問3 . (A) 私の内面は常に変革し先へと進んでいて、その過程を流動する万物と重ね合わせて私は認識しているのだと実感する。

(B) That is why I refrained from working on my old works as far as possible.

That is why I tried my best not to modify (correct) any of my old works.

問4 . (1) a (2) b (3) b (4) d (5) d

問5 . (1) 3 atを with か of に変える (2) 4 whose function とする  
(3) 4 one or other とする (4) 4 as soon as possible とする  
(5) 4 to be stockpiled とする

問6 . (1) A (2) B (3) B (4) A (5) C

問7 . (A) 1 (B) 4 (C) 3 (D) 3 (E) 2

## 講評

- 問1 . 喫煙をテーマとした医事英語が出題された。単語レベルも専門用語が多くこの  
ての英語を読みなれていない受験生は戸惑ったかもしれない。消去法で正答  
が得られそうなものが(a)(b)。文脈を考えて正答を得なくていけないのが  
(c)(d)(e)であろう。久留米大が医事英語を出題したのは2006年度以来のこ  
とである。昨年よりも空所補充問題は難化した。内容合致問題は比較的わか  
りやすく3つの正解は外せない。昨年までと異なり内容合致が4つの正解を  
求めているのは正答率のアップにつながると思われる。
- 問2 . 今年も難しい並び替えの問題である。受験生が解けそうなものはせいぜい(3)く  
らいではなかろうか。無駄にこの問題に時間をかけないことを銘記しておく  
ことこそが受験生にとっては肝要である。
- 問3 . 和訳は英単語および構文の難度が高い。日頃からきちんとした和訳の方法論を  
学習していなければ手が出ないだろう。my inner self/ in constant formation/  
moving on/ superimposed on/ in flux などすべての単語が受験生にはこなせ  
ないレベルだっただろう。結論的には受験生は大差なく得点できていないだ  
ろう。英作文のほうはまだ書けるレベルである。ただし、「できるだけ差し控  
えた」の表現は受験生にはできないだろう。従って、「そんなわけで」「旧作」  
を英訳して全文を作文構成しておけば0点にはならないだろう。  
和訳と作文はとにかく全文を和訳と英訳しなければ0点になるので、苦しく  
とも書き上げる根性が要求される。
- 問4 . (1)を除けば受験生には普通のレベルの問題である。
- 問5 . 昨年より難化した。受験生が真正面から考えて正答を得そうなものは(2)(4)(5)  
か。(1)(3)は難しいだろう。
- 問6 . 昨年度のような奇妙な英文もなく良問である。4つは取りたい。
- 問7 . 受験生になじみのある単語が使われて取組やすかっただろう。発音原則を学習  
しておけば4つは取れる。